

リラクゼーションコンテストJAPAN 2019
スペースの部 エントリーシート②

スペース名 Re.Ra.Ku ユーカリプラザ店

VI. IIのアイデアを実行するための計画を以下の枠内に自由にお書きください。

※取り上げるアイデアはIIの①～③で書いたアイデアであれば、いくつでも構いません。

※表現方法は問いません。ex.写真、イラスト等の使用可。手書き可。

※Excelで作成する場合、12～14行目の行の幅を変更しないでください。

※提出はメールまたは郵送にてお願いいたします。

「3世代に愛されるスペース」を目指して

私達のお店がある街、ユーカリが丘

「2018年度グッドデザイン賞」を受賞した素敵な街です♪

そして「あらゆる世代の人々がいきいきと暮らす街づくり」がビジョンです。



GOOD DESIGN
AWARD 2018

ユーカリが丘の街づくりが
「2018年度グッドデザイン賞」
を受賞しました



私達は、リラクゼーションを通して、ユーカリが丘地域の人々の健康に寄り添い、お客様が元気に笑顔になれるサービスを提供することで、地域で最も必要とされ、3世代に永く愛されるスペースを目指します。

3世代に愛される店内環境の整備

【課題①】子育てママの悩み・・・

- ・小さい子どもがいるとリラクゼーション施設にはなかなか行けない。
 - ・子どもを預けてまで行きたいかと言われるとそこまでではなかったり…。
- 日タストレスと闘う子育て中のママにも気軽に来店してリラックスしてもらいたい！

【解決策】キッズスペース併設の個室で子育てママを応援！

- ・お子様と同じ空間で施術を受けることができるので、まわりを気にせず安心して施術が受けられる♪

【課題②】

- ・年配のお客様が施術ベッドに横たわる時、また体勢を変えるときや立ち上がる時、バランス崩したり身体に負担がかかりとても不安定。

【解決策】

- ・年配者のお客様向けには手摺りのついた施術スペースを作り、身体を支える手摺りがあることで横たわる時も起き上がる時も安心！

【計画】

- ・子供連れのお客様向けにお子様を待てる個室スペースを創る為に、どのような個室がより魅力的なのか事前リサーチを実施する。
- ・リラクゼーションで個室がある店の調査、お客様アンケート、キッズスペースがある施設など見学しイメージを確定する。
- ・個室で子どもが喜んで夢中になりそうなDVD(アニメや番組)や絵本など魅力的なアイテムを検討。
- ・年配者向けの手摺を付けるにあたり、適切な設備を検討する為に、近隣の高齢者施設(ミライアコート)など見学と意見もらいに伺う。
- ・上記の事前調査に基づいて、イメージを確定した内容を元にホームセンター等リフォーム業者に具体的なデザインなど見積もりを依頼する。
- ・工事が必要になると想定されるので、業務に支障をきたさないよう夜間工事を依頼する。
- ・工事期間中一部店内で利用できないスペースが出ることが想定されるので、予約取得時にはそれを考慮する。
- ・仮にお子様泣き出ししても他のお客様のご迷惑にならないよう、壁を高くしたり、防音・吸音シート等で防音対策が取れた構造にする。

「肩もみニストセミナー」を開催する活動

【目的】

「肩もみニスト」をとおして、肩もみがユーカリが丘地域のあらゆる世代の心を通わせるコミュニケーションツールとして役立つことで、地域の人々の健康と幸せに貢献します。また、「肩もみニストセミナー」を開催することでリラクゼーションを身近に感じてもらい、地域の人々に広く親しまれることで商業施設の活性化とリラクゼーション業の普及に貢献します。

【計画】

- ・商業施設とコラボし、施設のイベントホールにて定期的にセミナーを開催する。
- ・肩もみニストセミナーを開くにあたり、必要な知識と技術をリラクカレッジ(研修施設)に学びに行く。
- ・企画内容や注意点など意見を伺い、トラブル防止も計画に入れる。
- ・商業施設の担当者に、企画書を作成し内容の承認とスケジュールを提案する。
- ・セミナーの受講者の人数などにより、開催するスケジュールを計画する。



働くセラピストがいきいきと活躍出来るバックヤードスペースの創造

【目的】

セラピストの働く環境をワクワクする場所にすることで、モチベーションアップによる更なるお客様へのサービス向上を目指します。

また、私達がより魅力的なセラピストとしての行動がとれるように、バックヤードスペースには店舗スローガンや行動指針を掲示し、互いに思いやる行動が意識的に取れる環境を創ります。

【計画】

- ・セラピストにどのようなバックヤード環境がより働きやすく、また快適なのか話し合い、アイデアを出し合う。
- ・横になれる椅子、ドリンクサーバの購入、バックヤードの拡張による休憩スペースの確保、その他、よりワクワクする環境を検討する。
- ・フリースペースを設け、セラピストが横になったり、ストレッチや簡単なトレーニングができるような環境を整える。
- ・フリースペース区画をカーテン等で区切る。使用の際スタッフ間でのトラブルを避けるため使用ルールを設ける。(使用ルールは強制感が出ないようにする)
- ・バックヤードスペースには店舗スローガンと行動指針(5thエッセンス)を並べて掲示し、互いを思いやる行動を意識的に取れる環境を作る。